

あなたの会費で地域福祉が支えられています

～平成23年度 会費納入状況～

平成24年2月10日現在の会員数は、一般会員4万585世帯、特別会員194世帯、法人会員66社という状況です。また、会費の納入総額は、2千124万4千580円です。会費は、その一部を地区社協の活動費として還元するなど、地域福祉活動を効果的に展開するための貴重な財源として活かされています。

納入いただいた会費のうち、一般会費の300円を超えた額及び特別会費の40%を平成24年度の地区社協の活動費として還元します。



地域での社会貢献

～野田遊技場組合の取組み～

東日本大震災をきっかけに、企業等による社会貢献活動（CSR活動）がこれまで以上に注目されています。



利用者さん直筆のメッセージ

私たちの身近でも永年続いている活動をご紹介します。

市内のパチンコ店が加盟する野田遊技場組合（金本元章組合長）では、「少しでも地域に貢献できれば」と平成15年から市内障がい者施設利用者の方へクリスマスプレゼントの寄贈が続けられています。

温かい気持ちのこもったプレゼントに利用者のみならず、私も大喜び。

「サンタさん、ありがとうございました。」とのメッセージがたくさん寄せられました。

共同募金ありがとうメッセージ

車いす対応軽自動車「たんぽぽ号」を利用して

岸口 三千歳さん
みちとし

今から17年前、突然の交通事故で車いすの生活となった息子の通院に「たんぽぽ号」を利用しています。

「たんぽぽ号」を利用するまでは、自分の車で病院まで送迎をしていましたが、高齢になり、腰に負担がかかるので、何か良い方法はないかと思っていたところ、社会福祉協議会の広報紙「社福のだ」で「たんぽぽ号」の記事を見つけ利用することになりました。

「たんぽぽ号」は、軽自動車なので、小回りが利き、また車いすのまま乗り降りでき、無料で利用できるのも、大変助かっています。

月に2～3回利用しており、今で



はなくてはならない、必需品です。

「赤い羽根共同募金」は、「たんぽぽ号」の貸出をはじめ、チャイルドシートの貸出や地区社協活動などの身近な福祉活動を支えています。

今後もしもご理解ご協力をお願いします。

TOPICS

震災復興を願い

V連の集いを開催

野田市ボランティア連絡協議会では、「共に生きよう、支えあおう！」をテーマに、市内外の東日本大震災被災者の方々や現地のボランティアに、野田市のボランティアが共に頑張ろうというエールをこめて、3月24日（土）V連の集いを開催します。

東日本大震災では、多くのボランティアが被災地の復興支援にむけて活躍しており、同じボランティアとし復興を支援したいという気持ちを

込めて、ボランティアグループの発表、活動紹介を行います。

また、特別ゲストとして、和太鼓グループ「呼魂太鼓」と龍の子会（聴覚障がい者と太鼓グループ）の演奏もあります。

入場無料ですので、お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

※手話通訳、磁器ループあり

【日時】 3月24日（土）

12時開場 12時45分開演

【場所】 樺のホール3階小ホール

【問合せ】 野田市ボランティア連絡協議会

小川 ☎7123-9254